

高の原幼稚園交流事業の実施状況について

1. 概要

令和 6 年度末に閉園を予定している高の原幼稚園では、本年度より段階的に園児の募集停止を進めています。そのため、集団生活や異年齢交流などの幼児教育環境の確保が課題となります。

本事業では、他園との交流事業を通して、集団生活での遊びや体験の中で社会性や生きる力を養う機会を確保するものです。

2. 実績

No.	月日	対象児	交流園		場所
①	5/11	49 名（4・5 歳児）	相楽台保育園	55 名（4・5 歳児）	兜谷公園
②	6/1	49 名（4・5 歳児）	相楽台保育園 愛光兜台こども園	76 名（5 歳児）	兜谷公園
③	6/12	24 名（5 歳児）	木津幼稚園	50 名（5 歳児）	高の原幼稚園
④	6/16	49 名（4・5 歳児）	園庭開放	15 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑤	6/22	49 名（4・5 歳児）	高の原小学校	52 名（5 年生）	高の原幼稚園
⑥	6/26	49 名（4・5 歳児）	相楽幼稚園	21 名（5 歳児）	高の原幼稚園
⑦	7/6	49 名（4・5 歳児）	園庭開放	14 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑧	9/12	25 名（4 歳児）	相楽幼稚園	24 名（4 歳児）	高の原幼稚園
⑨	9/13	49 名（4 歳児）	園庭開放	14 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑩	9/16	25 名（4 歳児）	愛光兜台こども園	24 名（3 歳児）	愛光兜台こども園
⑪	10/18	51 名（4・5 歳児）	園庭開放	11 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑫	10/19	51 名（4・5 歳児）	相楽台保育園	58 名（4・5 歳児）	高の原幼稚園
⑬	11/14	51 名（4・5 歳児）	園庭開放	11 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑭	12/8	51 名（4・5 歳児）	相楽台保育園	26 名（5 歳児）	高の原幼稚園
⑮	12/14	51 名（4・5 歳児）	園庭開放	7 名（未就園児）	高の原幼稚園
⑯	1/15	27 名（4 歳児）	木津幼稚園	52 名（4 歳児）	高の原幼稚園
⑰	2/27	24 名（5 歳児）	相楽台保育園	23 名（5 歳児）	相楽台保育園
⑱	3/6	27 名（4 歳児）	相楽幼稚園	31 名（3・4 歳児）	高の原幼稚園

3. 令和 6 年度の予定

- ・引き続き他園との交流事業を実施する
- ・未就園児を対象とした園庭開放の頻度を増やし交流を深める（毎週火曜日）
- ・未就園児親子に絵本の部屋を開放する「絵本の広場」を実施し未就園児との触れ合う機会を創出する（毎週月・水・金曜日）

① 交流事業報告 < R5 5月11日 10:45~11:00 >

場 所	兜谷公園
対象児	4・5歳児（49名）
交流園	相楽台保育園 4・5歳児（55名）
内 容	顔合わせ・自己紹介
職 員	高の原幼稚園・・・園長・教頭・担任・フリー 相楽台保育園・・・園長・園長補佐・担任・フリー

概 要

- ・兜谷公園への遠足を機会に、近くの相楽台保育園の友達と顔合わせを行う。
- ・「初めまして」と握手をしながら互いの名前を伝え合う。緊張する子もいたが、すぐに打ち解け、保育園の友達と笑顔で触れ合うことができた。
- ・「また一緒に遊ぼうね」と約束をして別れる。
- ・相楽台保育園児が園に向かって歩き出すと、追いかけて手を振る姿が見られた。次回一緒に遊ぶことを楽しみにしている姿が見られた。



② 交流事業報告 < R5 6月1日 10:00～11:00 >

場 所	兜谷公園
対象児	5 歳児 (49 名)
交流園	相楽台保育園・愛光兜台こども園 5 歳児 (76 名)
内 容	人数集めゲーム・ボール送り競争
職 員	高の原幼稚園・・・園長・教頭・担任・フリー 相楽台保育園・・・園長・担任・フリー 愛光兜台こども園・主任・担任・フリー

概 要

- ・愛光兜台こども園の園児と一緒に兜谷公園に行く。
- ・公園で相楽台保育園の園児も加わり、それぞれ園の紹介をする。
- ・人数集めゲームでは、クラスの友達とグループになっていたが、回数を重ねるごとに他園の友達と一緒にグループになる姿が見られた。
- ・園児が3つの合同チームに分かれ、ボール送りゲームを行う。説明を聞き、ルールを理解しながら楽しんでゲームに参加することができた。勝ったり負けたり勝負の楽しさや面白さをみんなで共有し、次回の交流を楽しみにする姿が見られた。



③ 交流事業報告 < R5 6月12日 9:45～10:30 >

場 所	高の原幼稚園 <雨天のため遊戯室で行う>
対象児	5 歳児 (24名)
交流園	木津幼稚園 5 歳児 (50名)
内 容	人数集めゲーム・ボール送り競争
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・教頭・担任・フリー 木津幼稚園・・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・木津幼稚園 5 歳児と、高の原幼稚園で交流を行い、それぞれ園の紹介をする。
- ・手遊びやゲームを行う中で、緊張がほぐれ隣にいる友達と笑いあう姿が見られた。次第に、木津幼稚園の友達と一緒にグループになることを喜び、たくさんの友達と一緒に遊ぶ楽しさを存分に味わうことができた。
- ・帰りに、ハイタッチをしながら「もっと遊びたかった」という声が聞かれた。同じバスで顔見知りの子もあり、声を掛け合う姿があった。



④ 交流事業報告 < R5 6月16日 9:30~10:15 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児（49名）
交流児	未就園児（15名）
内 容	園庭開放<幼稚園で遊ぼう！>
職 員	高の原幼稚園・・・全職員

概 要

- ・未就園児対象の園庭開放を行う。17名の申請があり、当日は15名が参加し、園庭で一緒に遊びを楽しむ姿が見られた。
- ・各クラスで、小さな友達が幼稚園に来て遊ぶことを伝え、どのように声を掛けたらよいか、どのように関わればよいか話し合い、当日を迎えた。0歳児の友達に対してもあやそうとする姿や「こっちにおいて」「一緒にブランコしよう」と優しく声をかける姿が見られた。
- ・帰りは、みんなで「来てくれてありがとう」「また遊びに来てね」と声をかけお見送りをした。未就園児の保護者も楽しんでおられた様子である。



⑤ 小学校 交流事業報告 < R5 6月22日 9:45～10:30 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	5 歳児 （49名）
交流児	高の原小学校 5年生（52名）
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・教頭・担任・フリー

概 要

- ・小学校との交流を楽しみにする姿があり、小学生のお兄さんお姉さんに見てもらいたいと「ベル奏」の練習をして当日を迎えた。練習をしてきたベル奏を小学生に見てもらえたこと、拍手をしてもらえたことを喜び、その後の交流もスムーズに緊張することなく、行うことができた。
- ・小学生との交流では、自己紹介も一人一人がみんなの前でも自信を持ち、言葉を発することができた。



⑥ 交流事業報告 < R5 6月26日 9:45~10:30 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	5 歳児 （49名）
交流児	相楽幼稚園 5 歳児（21名）
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・教頭・担任・フリー

概 要

- ・相楽幼稚園の園児と一緒にゲーム遊びを楽しむ。緊張する様子もなく、たくさんの友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わっていた。
- ・他園との交流にも慣れ、「相楽幼稚園の友達とバスが一緒」と顔見知りの友達をクラスの友達に紹介する姿も見られた。
- ・他の園児との交流計画を重ねる中で、誰とでもすぐに打ち解けられるようになってきている。



⑦ 交流事業報告 < R5 7月6日 9:30~10:15 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5 歳児 （49名）
交流児	未就園児（14名）
内 容	園庭開放<幼稚園で遊ぼう！>
職 員	高の原幼稚園・・ 全職員

概 要

- ・ 2回目の未就園児対象の園庭開放を行う。14名の参加があり、園庭で園児と一緒に水遊びや砂遊びを楽しむ姿が見られた。初回は「遊んであげよう」という気持ちが大きかったが、2回目は「一緒に遊ぼう。楽しいね」と園児たちの気持ちの変化が見られた。未就園児も一緒に水遊びを存分に楽しむ姿があり、前回よりも自然な形で一緒にかかわれる場となった。
- ・ 未就園児が来ることを楽しみに門前で待つ姿が見られた。



⑧ 交流事業報告 < R5 9月12日 9:45～10:30 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4歳児 (25名)
交流児	相楽幼稚園 4歳児 (24名)
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・教頭・担任・フリー

概 要

- ・4歳児同士の交流が初回であり、互いの緊張が見られたが、時間の経過とともに、他園の友達との触れ合いを喜びあえるようになった。
- ・当初は園庭での活動を予定していたが、残暑がきつく、室内でゲーム遊びやふれあい遊びに変更をした。次年度の交流計画では、暑さ対策を考え9月後半に計画したい。
- ・ふれあい遊びの中で、知らない友達にも手をつなぎに行こうとする姿が見られた。4歳児だけでの交流は初めてであったが、1学期からの交流の積み重ねから、自然と触れ合えるようになったのではないかと考える。



⑨ 交流事業報告 < R5 9月13日 9:30~10:15 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児（49名）
交流児	未就園児（14名）
内 容	園庭開放<幼稚園で遊ぼう！>
職 員	高の原幼稚園・・・全職員

概 要

- ・3回目の未就園児園庭開放を行う。14名の参加があり、園庭で園児と一緒に魚すくいや色水遊び、シャボン玉遊びを楽しむ姿が見られた。
- ・未就園児が来ることを楽しみに、自主的にかかわろうとする姿が見られた。
- ・園庭開放終了後、参加者から入園について相談を受ける。

「在園児や未就園児が与えられた遊具で遊ぶのではなく、それぞれ自分の好きな遊びを見つけて遊んでいる姿を見て、楽しそうだと感じた」と。このような保育を望んでいるので公立幼稚園に入園させたいと話された。園児が主体的に遊べるよう環境構成の工夫を行っていることが伝わり良かった。幼児教育の啓発につながっていると感じた。



場 所	愛光兜台こども園
対象児	4歳児 (25名)
交流児	愛光兜台こども園 3歳児 (24名)
内 容	一緒に遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・愛光兜台こども園 3歳児と交流を行う。場所を移しての交流は初めてであったため、緊張する子もいたが、赤ちゃんのいる場所を喜んだり、気持ちが高ぶったりする姿が見られた。
- ・見るものが新鮮で、わくわくしながらも落ち着いて楽しむことができた。今後は交流の形式にとらわれず、気軽に行き来をできるようにと愛光兜台こども園長と話をし、今後に向けて企画を考えたい。



⑪ 交流事業報告 < R5 10月18日 9:30~10:15 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児 (51名)
交流児	未就園児(11名)
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・ ・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・運動会ごっこができるように、サーキットやポンポンなどを準備していたところ、未就園児も幼児と一緒にサーキットを楽しんだり、ポンポンダンスを踊ったりする姿が見られた。人見知りをする子にもさりげなく声をかける等、自然にかかわれるようになった。
- ・参加者から幼稚園での遊びの様子をみて、幼稚園に入園させたいと相談を受ける。在園児と触れ合いながら、普段の園生活の様子を理解してもらえたと考える。幼稚園で大事にしていることを伝えられるよう、未就園児保育の内容を考えていきたい。



⑫ 交流事業報告 < R5 10月19日 10:00~10:45 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児（51名）
交流児	相楽台保育園 4・5歳児（58名）
内 容	一緒に遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・ ・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・相楽台保育園 4・5 歳児と運動会ごっこを行う。玉入れやサーキットなど一緒に楽しさを共有することができた。たくさんの友達と一緒に運動会ごっこをしたことで、楽しさや面白さが倍増し、一人一人の自信につながる事例となった。
- ・競技をした後、好きな遊びを楽しむ。運動会ごっこの続きをする子や、砂場や遊具などで存分に楽しむことができた。その場で相楽台保育園長と次回の持ち方について課題や願いなどを伝え合う。気軽に交流できるよう次年度は計画を行いたい。



⑬ 交流事業報告 < R5 11月14日 9:30~10:15 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児 (51名)
交流児	未就園児(11名)
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・ 秋の自然に触れ、木の実や葉っぱで遊べるよう環境を整える。自由に葉っぱの顔を作ったり、飾りを作ったりして、保護者や在園児と一緒に制作を楽しむ姿が見られた。
- ・ 在園児も小さい友達を受け入れ、世話をしたい気持ちや遊びたい気持ちがあっても、その子のペースに合わせて行動できるようになった。



⑭ 交流事業報告 < R5 12月8日 10:00~10:45 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児（51名）
交流児	相楽台保育園 5歳児（26名）
内 容	一緒に遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・・園長・担任・フリー

概 要

- ・「高の原幼稚園でもっと遊びたい」と相楽台保育園の園児の希望があり、実現した交流である。相楽台保育園 5 歳児と様々な遊具で一緒に遊びを楽しむ姿が見られた。いつもより人数が多いため色々な遊びの場で活気があり、園庭も賑わいがあった。前回、顔見知りになった友達との再会を喜ぶ姿も見られた。
- ・年度当初の計画にない交流であったが、会いたいときに気軽に交流できるようになれば良いとの願いがかなった。来年度は、園外保育にも組み込んで交流を深めていきたい。



場 所	高の原幼稚園
対象児	4・5歳児（51名）
交流児	未就園児（7名）
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・ クリスマスツリー制作や在園児と好きな遊びを楽しめるよう環境を工夫する。各コーナーで遊びを楽しむ姿が見られた。寒い時期は参加者が少なくなることを考え、来年度はスタートを早め、4月から定期的に行いたいと考える。
- ・ 未就園児の発達に合わせて行動したり、一緒に寄り添ったりしながら関わる姿が見られるようになったのは、6月よりの積み重ねであると感じた。毎回参加されていた保護者が、卒園する年長さんと会えなくなるのは寂しいと言われるほど、在園児に親しみを持っていただけた。園に親しみをもち、安心して過ごされる姿から、次年度も継続的に交流を行いたいと感じた。



場 所	高の原幼稚園
対象児	4歳児 (27名)
交流児	木津幼稚園 4歳児 (52名)
内 容	一緒に遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・ ・ 園長・担任・フリー

概 要

- ・木津幼稚園 4 歳児と 2 回目の交流である。雨天であったため、室内でかるた遊びをする。
各クラスの友達が混ざり合うようにグループを作り、3 部屋に分かれてかるた遊びを楽しんだ。カルタ遊びを通して、仲間関係が深まり、「たくさんカルタがとれたね」「がんばれ」など声を掛け合う姿も見られた。
- ・当初は、3 歳児との交流計画であったが、毎回知らない友達との交流より、継続できる関わりのほうが良いとの反省から今回の 2 回目の交流となった。高の原幼稚園の作品展を園児が案内し、楽しい時間を過ごすことができた。



⑪ 交流事業報告 < R6 2月27日 10:00~10:45 >

場 所	高の原幼稚園
対象児	5歳児 (24名)
交流児	相楽台保育園 5歳児 (23名)
内 容	一緒に遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・ ・ 園長・担任・フリー

概 要

・相楽台保育園 5歳児との最後の交流会は、保育園で行う予定であったが、高の原幼稚園の園庭が広く、2コート同時に試合ができるため変更しての交流会となった。保育園児も高の原幼稚園にとの交流を楽しみにしてくれていた。

・顔見知りになった園児同士で声を掛け合ったり、応援したり励ましあいながら勝負を楽し

むことができた。クラスの友達だけでなく、たくさんの友達とかかわったことで、葛藤を

感じたりしながらも我慢することや自己コントロールしようとする姿が見られた。

その

ことが、相手の気持ちの寄り添い、思いやる気持ちへとつながることができた。



場 所	高の原幼稚園
対象児	4歳児 (27名)
交流児	相楽幼稚園 3・4歳児 (31名)
内 容	みんなで遊ぼう！
職 員	高の原幼稚園・・ 園長・教頭・担任・フリー

概 要

- 相楽幼稚園の3・4歳児との最後の交流会は、雨天のため室内遊びを行う。前回、4歳児同士と一緒に交流をしたが、期間が空いており、懐かしむ様子は見られなかった。反省として、交流をする場合は期間を空けず継続できる計画が必要であると感じた。
- 次年度は、相楽幼稚園の園児と一緒に給食を食べたり、園外保育に出かけたりできるよう計画をしており、友達に親しみがもてるよう援助をしたい。

